

第 18 回

【テーマ別】

商業者、市民と市長のタウンミーティング

～武蔵境地区の商店街振興～

報 告 書

○期 日 平成 20 年 4 月 25 日

○会 場 ス イ ン グ ビ ル

武 蔵 野 市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が協働でまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で地域の課題や市政全般について、率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

このたび、テーマ別タウンミーティングの第2回目として、武蔵境地区の商店街振興をテーマに、第18回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」を、スイングビルにおいて開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後は、地域ごとのタウンミーティングとテーマ別のタウンミーティングを織り交ぜながら開催していくことにより、市民の皆様との意見交換をさらに深めてまいります。

概 要

1. 日 時 平成20年4月25日(金)
午後7時00分～9時00分
2. 場 所 スイングビル 10階 スカイルーム
3. 主 催 武蔵野市、武蔵境商店会連合会
4. 協 力 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会
5. 参加者数 73人
6. 主催側出席者 市長 邑上守正
武蔵境商店会連合会会長 高橋録造
武蔵野商工会議所会頭 稲垣英夫
武蔵野市商店会連合会会長 金子和雄
技 監 井上良一
企画政策室長 南條和行
環境生活部長 五十嵐修
都市整備部長 檜山啓示
生活経済課長 小島祐一
まちづくり推進課長 恩田秀樹
武蔵境開発事務所長 星 忠宏
7. 司 会 企画政策室市民協働推進課長 渡部敏夫
8. 内 容 「武蔵境地区の商店街振興」をテーマとした意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)「武蔵境地区の商店街振興」をテーマとした意見交換(要旨).....	3
はじめに「商店街の現状と課題について」	3
1. 大型商業施設の出店に伴う交通問題と浄水場南側の道路について...	6
2. 商店街の街路灯費用の負担について.....	7
3. 商店街におけるごみの収集について.....	8
4. 武蔵境駅舎西側への改札口の設置について.....	9
5. 高架下における駐輪場の設置について.....	9
6. 武蔵境のまち並み・景観づくりについて.....	11
7. 高架下の利用・駅前広場の電飾について.....	11
8. 住民・消費者の立場から.....	12
9. ムーバスの路線について.....	13
10. 武蔵境地区のグランドデザインについて.....	14
11. 路線商店街への支援について.....	15
12. 武蔵境のまちづくり・イメージアップについて.....	15
13. 武蔵境の商店街について.....	16
14. オープンカフェについて.....	17
15. 市のサポート体制について.....	17
16. 市民・事業者のネットワークの強化について.....	18
17. 大型店の進出と商店街の維持について.....	18
18. 商店会への加入・市による土地購入・高架下利用について.....	19
19. すきっぷ通りの車両進入規制について.....	20
(3)閉会のあいさつ.....	22
2. アンケートでいただいたご意見・ご感想と市の回答・対応方針.....	23
・タウンミーティングの運営について.....	23
・商店街の振興について.....	23
・武蔵境のまちづくりについて.....	24
・武蔵野プレイス（仮称）について.....	25
・駅舎づくりについて.....	25

・高架下利用について.....	26
・エキナカ出店について.....	26
【当日配布資料】 平成18年3月 路線商業活性化懇談会提言書（抜粋）	27

—付属資料—

第18回「事業者、市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。夜分にもかかわらず、多くの方々にご参加いただきまして、ありがとうございます。タウンミーティングは、今まで、各コミセンと共催により16回開催し、約1,500名の方にご参加いただきました。毎回、出された意見を整理するとともに、市の考え方を示したものを報告書としてつくってきました。今後は、その報告書をもとに2巡目のタウンミーティングをしていきたいと考えています。それに加えて、もう少しテーマを絞ってやったらどうかというご意見もいただいたことから、1月の第17回目は「商店街の振興」というテーマで、三鷹（中部）地区で開催しました。そこでも、さまざまな意見が出され、課題を認識したところです。課題を皆さんで共有して、これからどうしようかというきっかけづくりになったと思います。



商店街振興の第2弾として、武蔵境地区で皆さんが大変熱心に頑張られている商店街について、今後どうしたらよいかといったことを商店街の方だけではなく、地域の皆さんとともに課題を出し合って、建設的な意見交換をできたらと思います。

このタウンミーティングは、市の一方的な会議ではありませんので、武蔵境商店会連合会の皆さん、商店街の皆さんのご協力のもと運営がなされるわけでございます。皆さんのご意見に私が答えるだけではなくて、場合によっては会場の皆さんにもお答えもいただきたいと思いますので、これから2時間あまりですが、いろいろな意見をお寄せいただければと思います。

【武蔵境商店会連合会 高橋録造会長】

こんばんは。この会を開くにあたりまして、どういう議題で討論したらいいかということ由市から聞かれましたので、今後、境浄水場西側にいなげやができ、西武線とJR線両方にエキナカ商業施設ができるという状況の中で、我々路線商店街がどうやって生き残っていったらいいのかというようなことを主な議題にして、会を進めていただくように市にはお願いしてあります。それで「武蔵境地区の商店街振興」というテーマに決まりました。現在も大変に厳しいのですが、より厳しい状況が出てくるのではないかと危惧しているところです。



武蔵境の駅ができてから100年以上経っていますが、自然発生的にできた我々商店街を皆

さんにかわいがっていただけてまいりました。どうぞこれからも末永く路線商店街をかわいがっていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫会頭】



皆さん、こんばんは。今日は、商店街の振興をテーマとしたタウンミーティングは2回目ですが、「商業者、市民と市長のタウンミーティング」ということで、我々は、経済団体の協力者として参加させていただきました。高橋会長よりいろいろとお話がありましたように、これから、鉄道の連続立体交差化によって南北が一体化され、非常に便利になろうかということもあると思いますし、それに伴って、エキナカ店舗や大型店も進出するなど、いろいろと課題があるようです。商店街はどのように生き残るかということもあろうかと思えます。ただ、地域の市民利用者にとっては、便利になって、喜ばしいことと思えますが、商業者にとっては、競争相手ができるということで大変になります。それに伴って、駐輪場・駐車場・防犯など、いろいろな問題も出てきます。一つの提案としては、吉祥寺のように、競争ということではなく、この大型店などと共存できればいいと思います。

何はともあれ、今日は市長とのタウンミーティングということですので、市長に問題提起や質問をしていただき、意義ある会になればいいと思います。商工会議所としましても、どちらかという、今まであまり予算をとっていなかったのですが、本年度の予算において、武蔵境の活性化資金として予算をとらせていただいて、より一層活性化するために、今日の意見も聞かせていただいて、これから事業活動をしていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

【武蔵野市商店会連合会 金子和雄会長】



皆さん、こんばんは。お忙しいところをご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃は商店会連合会にご協力いただきまして、ありがとうございます。市長、高橋会長、稲垣会頭とお話があったとおりで、私からはもう何もございません。しかし、せっかくの機会、市長との意見交換という貴重な機会ですから、忌憚のないご意見等をお聞かせいただきまして、あとは市のほうで取りまとめていただくことになっています。そうしましたら、商店会連合会として何ができるかということ相談しながら、すばらしいまちづくりをしたいと思えます。どうぞ今日はよろしくお願い致します。

(2) 「武蔵境地区の商店街振興」をテーマにした意見交換（要旨）

はじめに「商店街の現状と課題について」

【市長】

最初に共通の認識を持っていただくために、私から基本的な考えをご説明したあとに、皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

先日、報道で、「長生きするまちはどこ」というランキングがあり、三鷹市の男性が全国で4位でした。武蔵野市は、男性ですと、全国で22番目でした。全国には約1,800の自治体がありますから、両市とも、長寿のまちであると言えると思っております。これからも高齢者の皆さんが増えていきますので、長寿の都市であるということを、胸を張って言えるようなまちにしていきたいと思っております。

商店会の状況が極めて厳しいことは、皆さんもご承知だと思います。全国には、約13,000の商店会があります。都内には、約2,700の商店会があり、全国の約2割の商店会が、東京に集中していて、そのうち、武蔵野市には52の商店会があります。人口比で考えますと、武蔵野市の人口は、約13万人で、東京都の人口が約1,300万人ですから、東京都の100分の1が武蔵野市です。日本全国の人口が、約1億3,000万人になりましたので、日本の1,000人に1人は、武蔵野市民です。このことを考慮しますと、武蔵野市の商店会の数は多いほうです。



しかし、商店会数については、配布しました資料「路線商業活性化懇談会提言書（※27ページをご参照ください）」によると、2つしか減少していませんが、商店会の会員数は、かなり減っている傾向にあります。市全域では、364店舗が未加入となっており、武蔵境地域では、65店舗が未加入となっています。市全体に対して、境地区の商店会加入率が若干低くなっています。

平成17年度に、「商店街の利用状況に関するアンケート調査」を実施して、市民や消費者の方が、日頃、商店街について、どう感じられているのかを調査しました。「商店街の買い物の頻度」についてですが、3人に2人は利用していただいています。多くの市民の方が、商店街を利用されていることは事実です。

「商店街を利用する理由」については、「家や職場から近い」「気に入った店がある」などが上位の理由ですが、6番目に「店員が親切」という項目がありまして、これも商店街を利用する大きな理由の一つではないかと思っております。

「利用したいと思う店舗の条件」として、「品物がよい」「価格が安い」といったことが、上位に挙げられています。

「商店街以外の買い物場所」ですが、「スーパー」が82%、「コンビニ」が57%、「デパート」が48%で、商店街以外では、スーパー等の大規模店に行くことが多いようです。

「魅力ある商店街にするには」ということでは、「商品や接客の充実」を要望される方が極

めて多く、これらが商店街を魅力的にする大きなポイントの一つではないかと思えます。

「商店街に元気がない理由は」としては、「大型店やコンビニの進出」が一番多い理由として挙がっています。

「商店街で行っている地域活動の認知度」については、「祭りや盆踊り等の運営」が8割を超えています。地域のさまざまなイベントで、商店街の皆さんが頑張っていることを多くの市民の方が認識している結果だと思えます。

それから、武蔵野市路線商業活性化懇談会からの提言です。提言1では、商店会の組織力を強化しなければいけないということで、いくつかの課題が挙げられています。行政が積極的に関与すべきことについても、ご提案をいただいています。この中では、「商店会加入の促進の支援」「組織力強化に関する支援」「商店会事業への補助」といったことが挙げられています。

提言2としまして、「個店の魅力向上」ということで、「豊富な商品知識」「接客の向上」「オリジナル商品の開発」等を含めて、さまざまな課題が挙げられています。

提言3では、「商店会と地域との連携強化」として、個々の商店が単立するのではなく、商店街ならではの地域との関係、これらをぜひ強化すべきというご提言です。その中では、「人に優しい商店街」「イベントの活用」「地域全体のネットワークの活用」等の提案をいただいています。



ここで、私の商店街に対する思いを申し上げます。私もこれからの商店街あるいは商店に対して、大いに期待することがあります。一つは、それぞれのお店が、今までのようにこだわりを持って商売を考えていただきたいと思えます。そのこだわりとして、店主の顔が見える店づくりをお願いしたいと思います。例えば、市内に農家が、80数軒あり、そこでの農産物を市内の幾つかの場所で購入することができます。JAの新鮮館でも購入することができます。

ですが、そこでは、野菜に必ず生産者の名前が書いてあり、壁には、生産者の名前と顔写真が張ってあります。こうすると、「これは、〇〇さんがつくった大根だな」と、顔を見てすごく安心するし、親近感も持てるということで、これは非常にいい結びつきになっていくわけです。こういう形で、売っている人、生産者の顔がわかる、その店の顔がわかるということは、愛着と連携、地域との結びつきを深めていきますので、そういう店主の顔が見える店づくりを進めていただきたいと思えます。

提言の中で、連携という言葉がありましたが、商店街の力を発揮できるかは、この連携にかかっていると思えます。商店会加盟店の連携もさることながら、地域の皆さんとのさまざまな連携が必要になってくると思えます。富士見通り商店街では、いろいろな工夫をさせていただきました。コミュニティスタジオでも、商店街の皆さんのほかに、地域の方々に参加していただくことで、大きな効果を生み出しています。このように、地域に顔を出される方は、商店街のいろいろなお祭りとか、イベントにも力を出していただくこととなりますので、商

店街と地域、地域といってもいろいろありますが、住んでいる方もそうですし、子供会やPTA、地域の団体もあろうかと思えます。ぜひこのような、地域の結びつきを考えていただきたいと思えます。

それから、洞爺湖サミットが今年開催されることから、環境問題について、マスコミで取り上げられています。商店街においても、環境や景観など、社会的に注目されていることを検討していただいてもいいのではないかと思います。環境に優しい商店街などは、私も宣伝してみたいと思えます。

もう一つは、武蔵野市は、住宅都市でもありますが、昼間人口の割合が高い地域です。三鷹市と杉並区は夜間人口が多いですが、武蔵野市は、夜間人口が約13万4,000人でして、昼間人口は15万人近くあります。吉祥寺等で商業をやられている方、テナントの方もたくさんいらっしゃいます。これに加えて、この地域では、亜細亜大学や、日本獣医生命科学大学、今年の4月から中学校も加わった武蔵高校があります。中央部では、成蹊大学や武蔵野大学がありますし、東の地域では、東京女子大学があり、学生が大変多いまちです。このような、昼間人口に大いに注目すべきではないかと思います。このようにターゲットを絞ることが必要だと思います。



最後になりますが、我々の世代以下は、情報を得るときに、インターネットを使用します。現在、商店の皆さんの中でも、ホームページを設けられているところも幾つかありますが、商店街単位で、ホームページ等を開設されて、情報を提供されることが、購買範囲を広げていくと思えます。今は、ネット社会になりましたので、IT化にも挑戦していただきたいと思えます。

ここまでが基本的な話ですが、武蔵境地区周辺の状況について再確認したいと思えます。武蔵境商店会連合会の皆さんの範囲については、武蔵境駅が中心ですが、地域としては、玉川上水の南、それから武蔵境通りのちょうど西側あたりを中心にした範囲でして、人口は約35,000人と把握しています。武蔵野市内の約4分の1の人口を保有する地域です。しかし、それに加えて大学等がありますので、昼間人口はかなり多くなる地域です。鉄道の高架化事業が進んでいますが、あと2年で上り線の高架化が完成し、西武多摩川線の踏切の一部は残りますが、踏切のないまちが完成します。あわせて、駅周辺においては、北口の広場、北口の駅関連施設等について、現在、設計を進めています「武蔵野プレイス(仮称)」についても、今年度中に着工します。

また、境浄水場西側では、いなげやの工事が始まります。来年4月のオープンに向けて、これから工事が進んでいきますが、規模は約10,000㎡の床面積になると思えます。ここに、いなげや、ドラッグストアや衣料品の店が入ってきます。

駅舎関連については、西武線の高架下に若干の飲食店等が計画されていますが、店舗の名前は明らかになっていません。情報が入り次第、皆さんにお伝えします。また、JRエキナカの施設利用については、情報が伝わってきていません。それから、高架下の利用というこ

とでは、私どもも皆さんの声をJRに強く要請しています。JRの中では、武蔵境から国分寺に至る高架下の利用を注目しており、この事業を有益なものにしたいとの考えから、「中央ラインモール構想」という言葉が出てきており、その内容についても、説明を求めているところですが、JRもこの中央線の立体化において、いろいろな開発をしていこうという段階です。



それから、石川島播磨重工業の田無工場跡地で開発が進められています。この中には、住宅や、病院、ショッピングセンターも入るということで、スーパーとしては、サミットとコジマが進出する予定になっています。このような、商業開発と同時に、武蔵野市域の一番西側にある桜堤団地の再開発が民間事業者により始まっており、数年後には、1,000世帯以上の新しいマンションが供給されることになっています。そのほか、幾つかの場所でも、マンション等の建設が行われていますので、この境地区は、新しい住民もこれから大いに入ってくる、発展的な、ポテンシャルを持った地域と言えるのではないかと思います。このポテンシャルをどう活かしていくかが、この地域の課題と思います。

1. 大型商業施設の出店に伴う交通問題と浄水場南側の道路について

【ご意見】

桜柳会の者だが、いなげやの出店に伴う交通問題について、境―田無間の道路は、中央線の下り線の高架化が完成したことによって、車の数が増えてきた。柳沢を中心として、南へ桜橋ぐらいまでつながっている。来年、いなげやがオープンするということになる、ますます車が増えるのではないと思うが、交通対策があればお伺いしたい。

もう1点、浄水場の南側に玉川上水に沿って西へ行く一方通行の道路がある。車は一方通行で、自転車は双方通れるが、あそこは狭くて、北側に白線が引いてあって、それが1mぐらいの幅である。その脇に40cmぐらいの高さのコンクリートがあるので、車が来るとふらふらする感じがするが、市では、どのように考えているか。できれば、そこへ歩道みたいなものをつくっていただければありがたい。

【市長】

高架化が完成して、踏切が頻繁に上がるようになり、この踏切を目指して来る車も増えてきました。いなげやの出店に伴う交通量については、1日の利用自動車台数が約1,000台とのことです。交通渋滞予測としては、時間的なピーク利用等を考慮した結果、130台の駐車場が予定されており、大きな渋滞を招くことはないとの判断があります。しかし、車の出入りについては、待ち行列が出ないように、駐車場の整理員等の配置を強く求めていきたいと思えます。

境浄水場の南側の道については、緑豊かなよい道になっています。ただ、この道については、議会においても、ご意見をいただいています。縁石がすごく高い石で、自転車のペダルがひっかかってしまい危ないとか、もう少しゆとりある空間にならないのか、浄水側も散歩

道にならないのかといったご提案をいただいております、実際に、東京都と協議に入っています。東京都は、今までは一切提供しないとのことでしたが、買うのであれば、よいのかもと言っています。私は、このような道は散歩道として広げたいと思いますので、東京都との調整がうまくいけば、ここをもう少し幅広い散歩道、玉川上水と一体となった道づくりをして、この道が三鷹までつながるといのは魅力的だと思います。

2. 商店街の街路灯費用の負担について

【ご意見】

富士見通り商店街で家電販売をやっている。市長から長寿のまちということを言われたが、7年ほど前は、それほど長寿ということを感じなかった。その当時、商店会長をやっていて、新潟や長野で、もう大型店や量販店はいらぬといった条例をつくったところがあった。その地域はお年寄りが多く、電球1個替えられないが、地元にはもうお店がないので、電球を替えるために、近隣町のお店に頼んでいるということであった。武蔵野や三鷹では、まだそういうことはないとは当時思っていたが、最近、インターネットの使い方がわからないとか、テレビを買ったが、つながらない、あるいは電球の交換ができない、あげくの果てには、救急車を呼んでほしいとか、非常に多くの依頼がきている。

商店街の方も、店主が高齢化していることによって、会員数が激減している。新しい店舗が入っても、月々1,000円の街路灯費も払いたくないとのことで、未加入になっている。このようなことで、昔、商店街で商売をやっていた、今は店をやっていない方も、街路灯費を払ってくれているような状態である。夜、自転車で通っても、商店街だけは、明るく安全な道を確保している。例えば、足立区など、一部の市町村では、街路灯費の負担を少しでも軽減しようということで、市の補助金を増やして、街路灯の補修費などの援助を受けているところがあると聞いている。武蔵境駅南口のある大型店が駐車場の入り口を非常に悪いところに設定したために、大渋滞が起こっている。そのため、かえで通りの道路を1車線増やすことに税金が使われているが、一大型店の利益追求のために、税金を使うのであれば、商店街の街路灯維持のために、何か対策をしていただきたい。

【市長】

お年寄りが安心して暮らしていくためには、歩ける範囲で、生活に必要な品物が揃うということが大切です。このたび策定した第四期長期計画・調整計画の中でも、商店街の一つの方向性として、そのような商店街をつくろうという位置づけをしましたので、ぜひ生活に必要なもので、商店街に足りないものがありましたら、これから増やしていただきたいと思います。あの商店街へ行ったら、必要なものは全部揃うというような状況でないと、市民の方はますます遠のいていきますので、連携を強めていくことを積極的に支援していきたいと思います。



商店街の街路灯について、設置には補助がありますが、維持費には補助がなかったと思い

ます。街路灯電気料の100分の70以内として、1商店会について、100万円を限度とするという補助金額は出しています。これに加えてということでしょうか。

【ご意見】

すでに商売をやめている方にも会費を出していただいている状態なので、例えば、エリアによっては、街路灯の補修や撤去すらできないような状態になっているところもある。街路灯を立てたからといって済むものでもないで、何とかその補修の部分も見て、少し補助をいただけないかということである。

【市長】

今後の課題として、お伺いいたします。

3. 商店街におけるごみの収集について

【ご意見】

富士見通り商店街で、リサイクル関連の事業を2年前からやっている。古紙回収により、資源をリサイクルする仕事をしているが、地域における商店街の重要性について、かなり前から考えてきた。富士見通り商店街を中心として、周辺の住民の方と商店街が何とか交流できるように、集団回収という制度で広げていこうと思ったが、現在シャッターを閉めているところがたくさんある。役所は、一般に事業系と家庭用を区別して、事業系は自己処理するという事になっている。大手企業やスーパーは資金があるので対応できるが、個人でやっている商店街には、毎月のごみ処理費用として、何万円も支出できないというところもたくさんある。私どもは、段ボールは有料で業者が引き取っている中で、境南町では無料で回収するようにしている。行政がもう少しきちんといろいろな対応をしていかないと、商店街がどんどんつぶれてしまうという危機感を持っている。そのあたりについて考え方をお聞きしたい。



【市長】

ごみの問題については、商売をやられている方は、事業系のごみとして処理することは大変だということですが、商店街単位でごみをまとめて処理するところはないようですので、やはり個々の処理となってしまいうわけですね。大規模店などになりますと、例えば、吉祥寺の伊勢丹などは、自前でかなり徹底した分別をして、リサイクル率も9割程度という取り組みをされています。ある程度単位が集まらないと徹底したこともできないので、商店街単位で、そういう取り組みを一緒にやるということではできないかと思いましたが、市内の事業所は大変多くありますので、個々に支援するのは、行政としてはなかなか難しい面もあります。ただ、それが商店街など、地域の固まりになってくれば、市としての支援の仕方も出てくるという気もしています。

4. 武蔵境駅舎西側への改札口の設置について

【ご意見】

武蔵境本町通り商工会の者だが、商店街というより一住民という感じで聞いてもらいたい。駅の開発もあと2年ぐらいで全部できあがるが、ホームの西側にぜひ改札口を設けていただきたい。現在、少し東側に寄って、完成するときには、少しまた西側に寄るということは聞いているが、西側の住民、亜細亜大学、商店街など、西側に改札口ができれば、朝の通勤時などにも便利になるということで、ぜひお願いしたい。うちも商売をやっているが、お客さんは、駅舎が完成したら西側に改札口ができると考えられている方もいる。現在では、JRとの交渉もあり、JRの問題だが、市からもお願いしていただきたい。

【市長】

駅舎については、建設が終われば、南北通路ができ、それに面して鉄道の改札口ができるということで、今までよりも若干西側に寄ります。西側にお住まいの方は、プラットホームの一番西側を通り過ぎて真ん中ぐらいに来ないと改札口に来られないということで、なるべく西側の駅舎の入り口あたりに改札口ができれば便利だと思います。地域の皆さんも今までに要望を出されているという経過もありまして、ご要望



について JRにも再三伝えていますが、JRとしても検討いただいたようですが、改札口を追加して開設することは、地元で費用を負担するのであれば考えてもいいということで、難しい問題になっています。ただ、駅のしつらえ上は将来的に改札口ができるような構造をお願いしていますので、もう少し議論が必要かと思います。

【ご意見】

その費用の点は、ぜひ市のほうでも考えていただいて、力を貸していただきたい。難しいことだと思うが、先行きを考えていただきたい。

【ご意見】

防災や防犯面などで、市民の方たちは不安に陥っているが、この中で常にお店にいるというのは商店街の方たちだと思う。商店街は、そういう観点からも、重要性を増してくると思うので、直接的な経済援助はできないにしても、まちづくりの全体の中で何らかの取り組みができていくのが一番よいと考えている。最近、境南町でも警察署がいろいろな事件が発生しているというチラシを全戸配布したが、そういうことが市民の不安をあおるので、その中で商店街がまちを歩く人たちを常に見ているといった位置づけを行政にはしてほしい。

5. 高架下における駐輪場の設置について

【ご意見】

武蔵境駅前商店街協同組合の者だが、違法駐輪、放置自転車の問題をどのように考えているかということ、それに伴って、高架下を駐輪場にするという考えはないのかをお聞かせいただきたい。

【市長】

自転車問題は大きな課題でして、武蔵境は今のところは、お借りしている駐輪場もあって、わりと収容できているかと思いますが、三鷹や吉祥寺など、他の地域が極めて厳しい状況にあります。ただ、武蔵境も幾つかの課題が出ています。一つは、「武蔵野プレイス（仮称）」の建設予定地に駐輪場を設けていますが、移設させなければいけないということがあります。その行き場として今年度予定していますのは、境南町の中央商店街の中ほどに、武蔵境駅南駐輪場という平置き駐輪場がありますが、それを立体三層にして、1,000台ほどの駐輪場にしようという計画があります。同時に、将来的には、当然高架下の駐輪場は必要ですので、最優先施設としてJRに強く要請しています。なるべく駅に近い場所に設けてほしいということをお願いしていますが、まだJRから回答が来ていません。JRも高架にするのだったら、収益的なものを考えていきたいということがあるようでして、まだ結論が出ていませんが、地元自治体としては、駐輪場をなるべく駅近くに設けてほしいとこれからも強く要請していきたいと思います。



幾つかの駐輪場については、地元の地権者の皆さんの多大なご協力をいただきまして、お借りできている状況ですが、今後どうなるかわからないという面もありますので、なるべく恒久的な駐輪場の整備を考えていきたいと思います。ただし、これは武蔵野市だけの問題かという点、そうではないんですね。例えば、南側の駐輪場になりますと、半分ぐらいは市外の方が利用されているということもありますので、近隣市にも大いに協力要請をしていきたいと思います。JRに対しても、駅を利用している人はJRのお客さんなので、駐輪場を設置してもらうように強く要請していきたいと思います。

お店に来る方の自転車をとめる場所についても、できれば商店街でもお考えいただきたいと思います。個々の商店に設置義務はありませんが、大規模なスーパーや百貨店には、一定の駐輪場確保が必要になってきます。ある一定の商店が連なった商店街であれば、自転車をとめる場所は必要になってきますので、駐輪場を考えていくということもぜひお願いしたいと思います。

武蔵野市は、平坦な土地で、自転車が利用しやすい場所であることは間違いないので、自転車に乗るのではなくて、ぜひ自転車に乗って利用いただきたいと思います。今年度以降、かえで通りにおける自転車専用レーンの設置が国のモデル事業として決まり、三鷹市側から今年度着工します。現在、三鷹市が宣伝していますが、武蔵野市は来年度の事業になっています。ただ、自転車レーンを設置すればそれで済むかというとそうではなくて、駅周辺の駐輪場と連携を持たないと、混乱が発生しますので、その辺は今年度整理をしますが、自転車専用レーンと駐輪場のうまい連携を境地区で図っていきたいと思います。

また、学生が利用する自転車と、我々市民が通勤に乗る自転車のコラボレート、レンタサイクル的なものも可能ではないかと思っています。1台の自転車を複数の人が利用できるということから、駐輪場のスペースも有効活用できるのではないかと考えていますので、い

ろいろな面で自転車を安全に利用できる地域社会を皆さんと一緒に工夫していきたいと思
います。

6. 武蔵境のまち並み・景観づくりについて

【ご意見】

境南協栄会の者だが、日本の街並みは、非常にばらばらで、統一性がない。例えば、統一
性を持たせて成功したまちに、湯布院などがある。今、いろいろなところで、道路拡張や新
しい建物ができようとしている。その前に、統一性があるって、誰からもいいと思われよう
な街並みをつくるために、規制やルールを設ける考えはないか。

【市長】

日本全国を見ますと、まち並みの統一による新た
な観光資源で名を売っている商店街もありますが、
私は少し疑問に思います。例えば、横浜の大倉山な
ど、ギリシア風のまち並みにした事例がありますが、
張りぼてのまちになってしまうんですね。映画セッ
トのようなまち並み。例えば、ディズニーランドの
まち並みというのは、あれは全部張りぼてです。
我々が住んでいる生活空間の中にそういうまち並



みができるのはどうかと疑問に思います。てんでばらばらの建物が並んでいるまち並みでは
なくて、規模も大体同じようで、それから、例えば、外壁の色調もまとまっている感じがす
る、そういうある程度の調和感のあるまち並みは必要ではないかと思ひます。武蔵野市では
今までそういう景観の考え方が明確になっていませんでしたので、今年度、景観計画をつく
ってこうという動きになっています。まちごとに、どういふまち並みをつくったらいいの
かを大いに議論いただいて、できればそれもルールにまでしていただければおもしろいので
はないかと思ひます。統一看板をつくと、建物は違っても、看板によって統一感のあるま
ち並みに見えてくるんですね。そういうことも大いに工夫が必要かなと思ひます。

先日、韓国の環境デザインの皆さんが吉祥寺のまち並みを見に来られました。鎌倉や小田
原を見てきたが、もう少し都会的なまち並みはないかということで、向こうの方から「吉祥
寺あたりへ行って見たらどうか」と言われて来たそうです。吉祥寺でよかったという点をお
聞きしましたら、まず、「ごみがない。きれいだ」とおっしゃるんです。確かに市内は、商店
街の皆さんも掃除をまめにされて、ごみがないと私も思ひますが、それを海外の方に評価さ
れました。一つは清潔感のあるまちというのが武蔵野市の特徴でして、それをもっと売って
いいと思ひます。きれいなまち、その行く末は美しいまちといったことで、まち並みを整え
ていく。清潔で美しい商店街というのを大いに売っていったらいいという気がしました。

7. 高架下の利用・駅前広場の電飾について

【ご意見】

武蔵境本町通り商工会の者だが、駐輪場について、高架下の駅の近くの部分は駐輪場にせ

ずに、にぎわいの場所にしてもらいたい。将来のためにも、この中は夜遅くまで開けていただいて、商店が入るようにしてもらって、その影響でこの辺がまたにぎやかになってくると思う。駐輪場は、よそから来た人がほとんど使っている。境の将来のためにもそういうふうにしたほうがいい。

それからもう1点は、冬に駅から降りてみると、駅前が広がったわりに暗い。ぜひ電飾の設置の補助をしてもらいたい。駅北口に、市に買ってもらった、もみの木に1本電飾をつけたら、よけい後ろが暗くなった。あれは逆効果だったかなと思うが、若者が写メールで撮ったりして、喜んでくれていたようなので、ほっとした。我々の一商店会ではなかなかそこまで余裕がないので、もっと数を増やせるように、助けてもらえたらありがたい。



【市長】

駅舎の下については、まず駐輪場になることはありません。JRも、営業収益をいかに伸ばそうかと考えています。今年度の「グループ経営ビジョン2020」を見ますと、「運輸業以外」の営業収益を全営業収益の4割程度にまで引き上げるとされています。生活サービス事業を積極的に展開するということですから、課題のエキナカ事業などの展開をこれからも大いにしていくと表明しているのので、駅の下も収益的なものになっていくと考えます。それがいいかどうかはちょっと難しいですが。

駅周辺のこれからの景観については、大いに工夫していきたいと思います。武蔵境の駅周辺のよさの一つに、緑があります。緑が豊かというのはいいことではありますが、やや暗くなってしまうので、それにどうやって夜でも明るさを感じさせるかということで、一定のライトアップというか、光の演出がある程度必要かなと思いますので、今後、駅前広場の議論と同時に駅周辺の景観デザインについて大いに議論をしていきましょう。

8. 住民・消費者の立場から

【ご意見】

私は、境5丁目の住民だが、「市民と市長とのタウンミーティング」であるのだから、案内チラシの表現には、市長としてもっと気をつけていただかないと。これは後で報告書の形になると思うが、期待・要望事項ばかりを質問している。こうしてほしい、ああすべきじゃないか、これは市民の声ではない。事業者の声だ。果たしてこれがきちんとした回答になるか。このチラシを見れば、商店街にも未解決の問題が山積みになっている。市長は「経営者の方の顔の見えるお店に」と言った。私はここに40年暮らしているが、従来に比較してお店のご主人と、「やあ、こんにちは」とか、そういうたやすいあいさつすら最近では欠如している。

「お互いに年とったが、元気でいいね」と、そういう会話すらない。ここに暮らしている人たちの期待・要望は魅力のあるものであってほしいと思うが、お店が発展するということは、我々この住民が発展するということだ。そういう認識をきちんと持たないと、市長は気の毒だと思う。この中で言えば、「大型商業施設計画」の具体的な中身は、我々にはさっぱりわ

からない。だから、そういうことをきちんと説明してほしい。この高架の駅ができれば、地域住民はもちろん、皆さん方に大きな影響を与えることはもうわかっているので、この具体的な中身をきちんと我々に説明してほしい。

【市長】

市民として、居住者、消費者の視点で、一つは商店の皆さんへの熱きエールをいただいたと思います。あわせて、説明が不足していたかもしれませんが、大型商業施設計画というのは、いわゆるスーパーマーケットの進出が予定されているということです。その一つとして、いなげやが境浄水場の西側に進出するというので、工事が始まりました。それから、高架化による影響とエキナカ出店及び鉄道会社と地元の協力のあり方。つまり、高架線になりまして、この高架下は、鉄道事業者はいろいろな施設を予定し始めています。しかし、その状況がまだ明らかになっていないものもありますので、市としては、なるべく早急に明らかにして、地域に知らせてほしいといった要求をしています。ただ、他市の事例を見ますと、鉄道事業者はいろいろな商業施設を詰め込む傾向にあり、地域にとっては厳しい話になってきますので、事前に大いに相談させてほしいという言い方をしていますが、JRとの相談の途中にあります。

9. ムーバスの路線について

【ご意見】

西東京市に住んでいるが、いつも通勤で東小金井の駅を使っていて、たまたまホームページでこういったミーティングがあるという情報を知ったので参加した。武蔵野市だとムーバスが吉祥寺から始まって、今は三鷹や東小金井のほうにも路線を拡充していると聞いている。商店街の活性化になるかわからないが、将来的に私の住む西東京市に路線を延ばすというのは考えられないのか。私は1年前に西東京市に引っ越してきたが、西東京市には、はなバスがあって、こちらにはムーバスがあるなど、それぞれの地域にコミュニティバスがある。市域を越えると、それは市の事業としてのバスだから、なかなか難しいと思うが、私も、雨のときにバスで武蔵境に来たりとか、イトーヨーカドーで買い物したりとか、その程度しか使っていないが、コミュニティバスを使って、他市との連携は考えられないのか。



【市長】

武蔵境というのは西東京市の方も結構来られているわけですね。ですので、ご近所の方もぜひ一緒に連れてきていただけたらありがたいと思います。ムーバスについては、市の中でバス路線がない、交通的に空白地域を埋めていこうということで始めたもので、ほぼ一定程度それが完成したのかと思います。武蔵野市だけではなくて、この間、小金井市あるいは三鷹市とも共同運行という形で連携をした路線もありますので、必要に応じて、周辺自治体との連携は不可欠だと思います。西東京市から武蔵境に来やすい方法がないかと思います。

駐輪場をきちんと用意しないといけないと思いますが、その際には西東京市長にお願いして、ある程度支援をいただきたいと思います。周辺の都市からも来やすい、私どもの生活は市境で終わるわけではなく、市を越えて利便性のいいところに行きますから、ぜひ武蔵境も、市境で区切るのではなくて、小金井市や西東京市の皆さんからも来やすいまちをつくらせていきたいと思っています。

10. 武蔵境地区のグランドデザインについて

【ご意見】

1月に西久保のコミセンでタウンミーティングがあり、出席した。そのとき、吉祥寺地区では、グランドデザイン委員会があって、市も応援しているが、そのような委員会が中央地区にはないという話があった。まさにこの地区もそうだ。今まで、武蔵境商店会連合会でそういったものを立ち上げなかったのは、勉強不足もあるが、ぜひ、そのような委員会をつくらせて、地域と一緒にやっていきたい。この1～2年がこの地区では一番大切な時期だ。優先順位をつけていただいて、武蔵境地区に重点的に施策をしてほしい。



2番目には、市長は、都市開発の専門家である。過去にはひばりヶ丘の北口の開発のプロジェクトの一員で頑張っていたということもお伺いしているし、見識や造詣が深いと思うが、私の考えはこうだということをもっとここで挙げてもらいたい。それに、市の優秀な職員もいるので、ここらでそういった旗揚げをしてもらったらありがたい。

3番目には、武蔵境駅北口の通りが暗いということだ。去年、東京ミッドタウンのオープン時に行ったが、ロケーションがよかった。あそこはどちらかというと暗いところであるが、イルミネーションが明るい。まさにこの通りも、ちょっと暗いところでイルミネーションをつけると、すごく立派で、駅の高架から見ても立派なものができると思う。この北口にロータリーができる。三鷹ほど大きいものはできないと思うが、そこにソーラーの大きな時計でもつけて、電車の中からも見えるようにするとか、以前、会頭さんと話し合ったときに、仕掛けが大切だという話に私も共鳴した。仕掛けとはどういうことかということ、私も美術館のことをずっとやっているが、ところどころに、本当は彫刻がいいが、教習所の前に大きな石を置くとか、仙川の空堀を木造にして、桜堤の団地を通して、小金井公園の江戸東京博物館の分館へ行くというような遊歩道、そういった仕掛けも必要であると思う。吉祥寺地区には8軒の大型店があるが、ここにはイトーヨーカドー1軒だけだ。商店街でどうしろというのではなくて、こだわりのある商店、個性のある店が集まるといことで、そういった努力はするが、何か仕掛けをしていかないと無理ではないかと思う。その仕掛けをするにはどんなことがあるかということ、今後そういった協議機関、委員会等をつくらせて、勉強していきたい。

【市長】

優先順位が低いというわけではなくて、武蔵境は武蔵境で、今このようなまちづくりが進

んでいますので、これは着実に進めていきたいと思ひますし、吉祥寺は吉祥寺で、これも待ってられないこともありますので、あわせてそれぞれの場所に必要な事業を順番に積み重ねていきたいと思ひます。地域の皆さんにもぜひ地域のことを一緒に考えていただきたいんです。行政だけではなくて、これからのまちづくりは皆さんの力が不可欠ですので、そのためには、これからどうしたい、どうしようというのをいろいろな場所で議論いただいて、私どもも一緒にその場に入りながら、よいまちの姿を描いて、それに向かって進んでいくということが必要だと思ひます。

まちについては、まずは、きれいで美しい清潔なまちづくりをしていきたいと思ひます。まちのデザインというのは形だけではなくて、どういうルートで散策路を設けていくかなどもあります。広がりのある、周辺部に行くようなネットワークを強めて、より集まりやすい、回遊性のある武蔵境を目指したいと思ひますので、一緒に議論をしていきましょう。

11. 路線商店街への支援について

【ご意見】

桜堤3丁目に住んでいる。私の知り合いは商店をやっている、お弁当を一人暮らしのお年寄りのところなどに運んだりして、とても喜んでもらっていて、すごくコミュニケーションができています。ひとり暮らしのお年寄りは、孤独でノイローゼになりそうな人もいて、そういう人たちに喜ばれている。もう1人の知り合いのお店には、お客さんが「ただいま」と言って入ってくる。そうするとママさんが「今日は寒いからうどんだよ」と言って、おうちに帰るような感じでやっている。



そういう意味では、住民の要望を知れば、もっと商店街の出番があるんじゃないかと考えている。商店が、そういう温かいまちづくりの中心になるということは必要だし、可能性はある。市が、消費者の実態を調べて、商店の人に情報を伝えるとか、もっとかみ合った形にするには、やはり市の役割が必要だと考えている。

大型店というのは、資本に任せて開発をし、よい商品をいっぱい作るし、安い商品を仕入れる。材料も安い。個々の商店街は、大型店と競争をするのは大変だ。どうにか商店街が生き残っていくために、市のほうでいろいろ施策をつくってほしい。路線商店街が生き残るにはどうしたらいいかということは、もっと研究する必要がある。

12. 武蔵境のまちづくり・イメージアップについて

【ご意見】

私は、すきっぷ通りでお店をやっている。私たち小さな店は本当に経営が大変だ。だから、こういう活性化についての話し合いの場を有効に生かしていけたらと思う。私たちが営業して生活していくことが、このまちを形づくっていくということでもあると思うので、このまちをどうしたいのか、その中で私たちはどう生活していきたいのか、そういうことを今皆さ

んにも教えていただきたいし、みんなで考えていきたい。武蔵境は、吉祥寺と違って、穏やかで静かで暮らしやすい和やかなまちにしたいと、私はずっと思っている。例えば、「駅前の武蔵野プレイス（仮称）の北側をイベント広場にすれば、商業が活性化する」と言われるが、駅前に月並みなものがあるよりも、緑があるということのほうが、武蔵境のイメージアップになると思う。

【市長】

武蔵境の特殊性を生かしたまちづくりが必要です。武蔵境は、吉祥寺や三鷹とはまた違った特徴を持っていますから、現在でも、南口を降りると、緑があって、ほっとするような空間もあります。かといって、そんなに地方の雰囲気はなくて、やはり、都会的な雰囲気も漂っています。

さらに、若い人がよく利用している駅です。亜細亜大学、日本獣医生命科学大学の学生など、多くの学生が乗り降りを行います。若いエネルギーな皆さんが行き交うのにふさわしいまちづくりも、キーワードとしてあると思います。

そのような中で、特に北口広場については、ある程度、基本的な方向性は出していますが、どういう景観がふさわしいのかは、皆さんと議論していければと思います。市は一体何を考えているんだ、どのようにイメージしているのかとよく言われます。もちろんそういうイメージも出さないといけないと思いますが、同時に、地元の方や地域の商店街の方が、どういう商店街を目指したいのか、ご意見をいただきたいのです。そういう意見の積み重ねで方向性が固まっていくという気がしていますので、何かお話しただければと思います。

13. 武蔵境の商店街について

【武蔵境商店会連合会 高橋録造会長】



境は、吉祥寺地区と違って、穏やかで温かいまち、静かなまちという感じはしています。確かに学生が多いですが、商人の立場で言えば、普通の物販ではなかなか学生さん相手というわけにはいかないと思います。境のまちは、若い人ではなくて、おじいちゃん、おばあちゃんが安心して買い物ができるお店にしようというのが私の持論です。お店の中にイスを置いて、来たお客さんにはまず座っていただいて、買い物は二の次でいいから、世間話をしていけば、そのうちに、忘れていた買い物を思い出して、1品か2品買ってくれることもあるでしょう。境はそんな店づくりをしようと思います。そんなお店は、吉祥寺や大型店にやれと言ってもできません。それは、我々が小さい小売店だからできるので、お客さんがほっとできて休めるお店、商品売るというのではなくて、話し相手のできるお店、そんな店づくりをやりたいと思います。優しいまち、年寄りに温かいまち、そんなまちにしよう武蔵境商店会連合会で、いつも会があるごとに皆さんに申し上げます。吉祥寺みたいに、若い方を対象とするのではなく、逆に吉祥寺で買い物できないおじいちゃん、おばあちゃんが、境へ買い物に来るくらい、優しいまちなんだということがアピー

ルできるようなまちづくりを考えています。

14. オープンカフェについて

【ご意見】

私は、境のまちは、どこかにオープンカフェがあって、散歩しながらお年寄りがお茶を飲んだりできるような、そんなまちになってもらいたい。まだ1軒もそんな店は出てきていないが、駅前のスイングロードは、緑があって、ケヤキの木がうっそうとしている。あの下あたりでお茶を飲めたら最高だと思う。以前、スイングビルの1階にコージーコーナーというお店があったが、そこがやめて閉めるときに、店主が私のところへあいさつに来て、「あそこでオープンカフェをしたかったので、折戸をつくったが、認められないから撤退します」と言ってきた。やめるときにそれを聞いたので、そのときは間に合わなかったが、あそこでお茶を飲めたら、若い人も年寄りもみんな集うんじゃないかと思う。これからまちづくりをするにあたって、緑があるのを利用して、皆さんがもっともっと親しめるお店が出てくることを期待している。

15. 市のサポート体制について

【ご意見】

スイング通りの者だ。今、お話があったようなアイデアなどは、皆さんお持ちだと思う。しかし、そういうアイデアを市に持っていきこうと思ったときに、どこに持っていったらいいかわからない。生活経済課、商工会議所とか、あちこちに回らなければならない。でも、そういう形ではなく、一つのきちんとした窓口がほしい。そこには、商業者だけではなく、一般の市民も行けて、いろいろな情報が得られ、今このまちで何が起きているのか、どういう話が出ているのかというのがはっきりわかる。そういう場所がやはり必要だと思う。今の状態では、各課の担当者、係長、課長と、ステップを幾つも重ねなければならないが、アイデアを実現するというのが一番大事である。



今、商店街が持っている問題、この地域が持っている問題を具体的に解決していかなければいけない。こういうことをやりましょう、ではそれをどのように具体的にやったらいいか、市はどうやって手伝ってくれるのかを聞きたい。

市民の方がアイデアを持っていても、どこへ行けばいいかわからない。これはすごく大きな問題である。例えば、エコロジーのまちでもいい。そういうものをきちんとうたって、なにか問題が起きたときに、市としては、エコロジーのまちとして解決していきましようという考え方も必要だと思う。

具体的に動いていかないともう間に合わないと、実際にここの地域にいて感じている。例えば、そういうオープンカフェも、具体的にどうやったら実現できるのか、どのように市はサポートしてくれるのか、そういう情報が全然ない。そういうことに関して、何かいい形で

市長のほうでつくっていただきたいというのが要望だ。

16. 市民・商業者のネットワークの強化について

【ご意見】

私は、境南町5丁目に住んでいて、普段は、クリーンむさしのを推進する会で、ごみに関する活動をしている。市民の立場から、商店街の方にもいろいろお世話になっているので、感謝の気持ちも述べたいし、一つのきっかけだと思った。

1つは、マイバッグキャンペーンをここ4年ぐらいやっているが、商店街を1軒1軒歩いてポスターを貼るなど、本当にお世話になっている。特に、すきっぷ通り商店街では、放送をかけていただき、とても効果があり、すごくよかった。

2つ目には、去年から行っている「武蔵境ピクニック」でも、私たちはお茶碗リサイクルをやらせていただき、地域のことをみんなで一緒にやっているという実感がある。

また、スイングの前で国際交流協会のお祭りをやっていて、一昨年までは外国人の方と学生と市民団体で実施していたのが、去年から商店街の方も入られて、ネットワーク的におもしろく、手ごたえのある取り組みができています。先ほどのオープンカフェのアイデアも、



市民の立場からも、商店街の方の立場からも、おもしろい取り組みになるのではないかと。

そうやって、いろいろなネットワークというか、つながりはできてきているのに、それが点々になっていて、なかなか面に広がっていかないという感じがある。私の立場からは、ますますこれからも皆さんとつながっていききたいと思う。それを市のほうでバックアップしていただけたらありがたい。

17. 大型店の進出と商店街の維持について

【ご意見】

私は、境2丁目に住んでいる。今日は、商業者の立場から質問させていただく。先日インターネットを見ていたら、イオングループ何百店舗撤退と出ていた。我々個人商業者はそんなことはとてもできない。このまちで生まれ育って、本当に一つの仕事をずっとやり続けている。そういったことを考えていただきたい。先ほど市長は、皆さんの意見を聞いてとおっしゃった。少なくとも我々商業者は、今の仕事を続けたいと思っている。だから、今日はこれだけ多くの皆さんが、関心を持って集まっている。いなげやが浄水場の横にできるようだが、今後さらに道路ができてくる。そして、その周りにいわゆる郊外型の店舗ができてくると思われる。市長、武蔵境のまちは、現在ある商店街を維持するのか、それともいわゆる郊外型店舗が乱立する田舎のまちを目指すのか、どちらか教えてほしい。

【市長】

市には、アイデアの受け手がないという話ですが、境のまちづくりに関する窓口は、境

開発事務所に相談いただければと思います。それと同時に、それをトータルで考えるような、地元と市の組織をつくる必要はあると思います。例えば、吉祥寺の活性化協議会では、連携を深めて、いろいろなことをそこで議論いただいています。市もそこに参加しています。武蔵境では、武蔵境商店会連合会の組織もありますから、そういうところと意見交換をしながら、ともに同じ土俵で考えるようなやり方が必要ではないかなと考えます。

もちろん、個々のアイディアはすばらしいものもあるでしょうが、それを個々に、例えば市役所に持ってこられても、受け入れるのはなかなか難しいです。今言ったような組織で、将来像をきちんと描いて共有化する、そしていろいろな個々のアイディアを吸収して、そこが主体となって、市の予算もつけて実施していくといったように、うまい組織をつくって運営できたらと思います。

商店街と地域との連携については、マイバッグも含めて商店街の協力を得られているということで、うれしく思います。地域では、環境問題とかいろいろなことで活動されている市民の方は大勢いらっしゃいますので、商店街と連携していろいろなことをやっていくという姿が、地域との連携を深める大きなきっかけとなるのではないかなと思います。商店会の皆さん、ぜひそういう団体の皆さんを受け入れるような形でいただけたらと思います。



それから、最後のお話で、どちらを目指すのかということですが、基本的には、私は、地域を重要視しています。新しく策定した長期計画・調整計画でも、路線商店街について、もっともっと地域と密に連携して、地域にふさわしい商業を目指していこうという位置づけをしていますので、その限りにおいて、商店街を大いに支援していきたいと思います。ただし、法律では、いわゆる「大店法（大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律）」が「大店立地法（大規模小売店舗立地法）」に改正され、大規模店舗の出店が緩和されて、なかなか厳しい状況になっていますが、それに負けないような、足腰の強い商店街をつくってきたいという思いがあります。皆さんとアイディアを出して、負けない商店街づくりを目指していきましょう。

18. 商店会への加入・市による土地購入・高架下利用について

【ご意見】

境1丁目に住んでいる。商店街に未加入の店が大分あるが、新しい外部の商店が入ってきたときに、商店街に加入するといった条例はつくれないか。商店街が歯抜けになって、会員が減っていくと、商店街も成り立っていかない。

商店街だけじゃなくて、公有地を活用してほしい。今、4丁目とか5丁目の大きな公有地がマンションになろうとしている。こういう公有地を先行投資で市が買って、そこを利用する人が商店街を利用するようになればよい。そこにスポーツ広場とか、いろいろな商業に関係するようなものをつくっていただければありがたい。

自転車の駐輪の件があったが、高架下はJRが責任を持って駐輪場をつくっていただくというスタンスで、その15%ぐらいは市のほうで使えるはずだ。そこには有効な公共施設を入れていただきたい。

19. すきっぷ通りの車両進入規制について

【ご意見】

駅前商店街の者だが、すきっぷ通りでは、自動車の進入時間の制限は考えていないのか。利用客は歩行者天国に近い感覚で使っているので、最近、自動車の通りが多くなってきていて、お年寄りや小さな子供にとっては危ない。その辺はどのようにお考えだろうか。

【市長】

商店街への加盟の条例等については、課題になっています。ただ、今までの経過からすると、いきなりは難しいと考えていまして、現在では、さまざまな事前の指導において、市でも、地域の商店街に加盟をしてほしいといった要請をしています。しかし、それだけだとなかなか担保ができず、今後何らかのルール化ができないかということで、商連の皆さんと研究を始めているところです。その研究の成果を踏まえて、可能であれば、条例化に向かっていくと思います。



周辺の敷地については、商業の活性化という視点だけではなくて、地域全体の活性化に必要であれば、検討していきたいと思います。残念ながら、購入できなかった土地もありますが、それだけに限らず、今後とも地域のために必要な土地については、大いに購入を検討していきたいと思います。

高架下の有効利用については、国の取り決めにより、市の優先的な持分は15%となっております。この15%の持分は、駐輪場にも充当すべきだとも思いますが、それ以外でも、例えばアンケート調査の中では、市政センターを移転したらどうかとか、あるいは防災倉庫として利用したらどうかとか、幾つかの提案がありましたので、そういうことも含めて、JRとは協議をしていきたいと思っています。さらに、その15%以外でも、当然JRに対しては、駐輪場の設置等について、今後とも強く要請をしていきたいと思っています。

最後のご質問については、会長から答えていただきます。

【武蔵境商店会連合会 高橋録造会長】

現在、すきっぷ通りは、午後2時から7時までが車両進入禁止なのですが、それがだんだんルーズになってきて、守られていない状況が見られます。以前は、ウマを置いて閉鎖していたのですが、ある程度認知されたことと、ウマの出し入れも、近所のお店の方にしていただいていたので、大変な作業だったということで、現在ウマを置いていないので、入ってはいけない時間帯の午後3時や4時に荷さばきの車が入ってしまうという状況が多く見られています。今ご意見をいただいたので、早速また明日からでもウマを出して、午後2時から7時ま

では完全に車が進入できないようにしたいと思います。ただ、横からも入る道が左右に2本ありまして、表をふさぐと、そこから入るなどと、イタチごっこになります。全部ウマを置けばいいことなのですが、ウマの出し入れを近所でやっていただければ助かるのですが、頼みにくい面もあります。せめて表だけは明日からでも、またウマ出しをやりたいと思います。

(3) 閉会の挨拶

【武蔵境商店会連合会 高橋録造会長】

今日は、本当にありがとうございました。市民の方から、もう少し苦言を聞きたかったのですが、今日はいいい人ばかりで、苦言らしい苦言が聞けなかったのは残念です。商店会連合会としては、これからも一生懸命頑張りたいと思いますので、消費者の方にも応援をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。



【市 長】

遅くまでありがとうございました。そして、たくさんの意見をいただきまして、その意見をもとに、これからのまちづくりのスタートのきっかけになればと思います。境地区は、これからの可能性が大きい地域です。地方都市などは大変厳しい状況下にあります。それに比べたら、いろいろな開発がこれから行われてくる、新しい住民も大いに引っ越してくるといった状況ですから、これをいかに有効に地域に引っ張ってくるか、可能性がありますので、いろいろなアイデアを交わしながら、そして地域の皆さんもまとまっていって、そして私どももそこに入って行って、ともにまちづくりを考え、それに向かって一歩ずつ進んでいきましょう。本日は参加いただきましてありがとうございました。商店街の皆さん、ありがとうございました。



2. アンケートでいただいたご意見・ご感想と市の回答・対応方針

分類	番号	意見・感想等	市の回答・対応方針
タウンミーティングの運営	1	商業者タイム、市民タイムと質問時間を分けたらよかったと思う。	タウンミーティングの運営については、このたびいただいたご意見も参考とさせていただきながら、限られた時間の中で、できるだけ効果的な議論ができるよう努めていきます。
	2	ある程度、議論の論点を想定して市民をリードする進め方をしてみてはどうか。今回の場合は、エキナカ出店による商店街の受ける打撃と対抗策とか。	
	3	思っていたより前向きなよい意見が出てきて、地域の熱心さと共にタウンミーティングのよい役割が見えた。	
商店街の振興	1	行政の役割とは、人を育てることだと考える。地域活性化、地域コミュニティの形成を言うのは簡単だが、行うのが難しい。これまで武蔵野のまちづくりに貢献してきた商店会。今こそ行政は情熱を持って苦悩の中の商店会を再生する力を発揮すべきではないか。弱いものは去れでは行政の存在意義はない。	現在、本市では、商店街・商店会組織の活性化、地域コミュニティの再生を目標に、コミュニティスタジオ事業への補助制度として、路線商業活性化総合支援事業を実施しています。また、東京都とともに、商店街の活性化事業に対して補助をする、新・元気を出せ商店街事業補助金制度も実施しています。今後も商業活性化に向け、さらに研究していきたいと考えています。
	2	商業者の要望事項に対する回答に重点が置かれていたため、実現可能性が乏しい内容となっている。積極的に地域住民の買い物行動に適する対策を確立すべきと言える。	消費者動向調査等のデータの把握に努めるとともに、各店舗の創意工夫が効果的に行なわれるような支援について検討していきます。
	3	武蔵境を含む武蔵野市民は比較的所得が高いのに、武蔵境には魅力のある商店が少ないように思う。例えば、調布の仙川は商店街に女子大生を取り込んだり、安藤ストリート等で魅力を出している。財布のヒモが緩むような商店街になればよいと思う。もっと付加価値を。	現在、個店の魅力を上げる事業として、武蔵野市商店会連合会が実施しているムーショップ事業に対して補助をしています。今後も商業活性化に向け、研究していきたいと考えています。
	4	人頼み的な意見が多いように感じる。商店街としての努力や理想がなければ発展はしない。市長答弁も「みんなで議論」はよいが、どういう武蔵境がよいと思っているのかが見えない。リーダーとして提案し、それに市民が意見を出すのがよい。消費者としては選べる店作りを考えてほしい。	今後とも、商業者と地域住民と行政が、それぞれ意見を出し合い、それらを積み重ねることで、商業振興のためにどうしていくべきかの方向性が定まってくるものと考えております。各商店街へのご意見については、各商店街で受け取れるような体制を整えるように、商店会連合会に申し伝えます。
	5	商店街の方々のご苦勞がよくわかった。消費者側としても、地元民としても、考えないといけないと思う。提案や要望を気軽に出来る窓口を早急に作ってほしい。商店街にもアンケート箱など設置したらよい。	

分類	番号	意見・感想等	市の回答・対応方針
商店街の振興	6	商店街の内側で、自由に意見を言ったり反対意見を言ったりできる雰囲気はあるのか。リーダーが右と言えば右。文句があっても我慢。寄らば大樹の陰という雰囲気なのではないか。それでは若いリーダーが育たないし、建設的なアイデアが出てこない。	ご意見として承ります。市としては、今後とも、商店街の活性化や利便性向上のための支援を続けていきたいと考えています。
	7	商業者が街の活性化を望んでいるようだが、行政に頼りすぎるところが多々あった。市民とのつながりは行政に頼らず、自ら範を示すことが第一歩であると思う。そのうえで行政と協議し、共有化の道を選ぶべき。また、商店会の未加入店が1割以上あるのは、皆さんの努力を期待する。	武蔵境の各商店会が連携を図りながら、地域を盛り上げていくことが、今後の武蔵境の商業にとって重要であると考えています。
	8	大きなテーマ(商店街振興)ではなく、堅実に解決できる小さなテーマ(意識革新)を提起すること。例えば、商店経営者及び従業員の教育及び訓練を実施する。消費者の不安・不信・不満を除去する方法を検討する。	現在、商店街が直面している問題は、規制緩和による大規模店との競合と後継者不足であると認識しています。いただいたご意見のような側面も考えられますが、引き続き、多くの商業者の方、市民の方との意見交換を続け、商業活性化に向け、研究していきます。
	9	学生はお金を落としてくれない。地域の方々が安心して暮らせるように。	学生が消費を行なうのは、学生にとって魅力的な店であることが前提であると思います。今後も商店街の活性化や個店の魅力向上について、研究していきたいと考えています。
	10	商店街へたくさんの人を呼び込む為には目玉になるものが必要。30年来、美術館があればたくさんの人が来るとの考えで運動を続けている。是非、美術館を武蔵野市へ。	市では、平成14年に、吉祥寺美術館を開設しました。このほかに美術館を新たに設けることは、場所選びやコストの点から困難です。吉祥寺美術館については、レイアウトや設備を見直し、一層の活用を図るとともに、他の文化施設との連携を強化していきます。武蔵境地区においては、「武蔵野プレイス(仮称)」を中心として、北側公園や周辺道路など一帯の環境を、文化の創造と豊かな緑をコンセプトとして整備し、まちの魅力向上を図ってきたいと考えています。
	11	まちの全体像の中で商店街はどう考えるのか、活性化とは何なのか。経営の厳しさを感じつつ、閉塞間の突破口を探せればと思い参加した。	今回のタウンミーティングが、武蔵境の商業振興に関する課題を商業者と市民で共有し、今後どうしていくべきかを考える機会となったのであれば幸いです。
武蔵境のまちづくり	1	JRの高架化、武蔵野プレイスの建設が進行する中で、様々な世代、性別の意見も取り上げられる場が作られるとよい。その際、今まで出た要望・回答、今後の取り組みも合わせて周知して行ってほしい。こうした意見交換が積み上げられて、よりよいまちが作られることを期待したい。	市としては、引き続き、多くの商業者の方、市民の方との意見交換を続けていきたいと考えています。タウンミーティングについては、毎回、いただいたご意見と市の対応方針を報告書にまとめて、今後、さらに議論を深めるための材料としたいと考えています。

分類	番号	意見・感想等	市の回答・対応方針
武蔵境のまちづくり	2	アイデアの実現に向けて、協議会を作る。	<p>駅周辺の整備において、他所からも来てみたい魅力あるまちにするよう努めていきます。また、駅周辺整備に関する各事業については、計画段階、施工段階の節目に市民の方々のご意見を聞く機会を作るよう考えています。</p>
	3	いろいろなよい意見が出ているので、まとめて実践していく方向を出してほしい。	
	4	武蔵境が、穏やかで、ほっとする、街の気分を発信していくことが、一番の魅力になる。貴重な場所をありきたりの広場にするより、「駅前に緑の公園があるなんてすごい」と評判を呼ぶ、そういう街に人が集まり、元気に豊かになると思う。	
	5	商店中心、要望中心の話は、もう少しつめて短くする。住民の意見を話し合う場を作ったらよいのではないか。	
	6	地域の身近な問題が話し合われ、大変よかった。中央線高架完成に伴い、武蔵境周辺がますます活性化するよう願う。	
武蔵野プレイス（仮称）	1	武蔵野プレイスは、高額の事業費は削減し、税金の配分を再考すべきだ。北側の公園は「環境価値を重視し、豊かな緑を創出する」とうたっていたはずなのに、市は木を植えるところではなく、地元商業者の要望によりイベント広場だという。構想の主要件だった緑を排し、いつの間にか「イベント」に集約されるのはおかしい。イベント広場にすれば商業が活性化し、商店が生き延びられるのか。	<p>施設建設関連費用（イニシャルコスト）については、決して安い費用とは考えていませんし、非常に重く受け止めています。その財源は、今まで積み立ててきた基金からの繰り入れをはじめとして、当該年度への財政的な影響を最小限に抑えるよう、一定の財政規律に基づいて、考え得る最大限の財政上の措置をする予定です。また、開設後の維持管理費用（ランニングコスト）についても、できる限り合理的な縮減に努めていきます。北側の公園については、平成11年策定の中心市街地活性化基本計画により、「街のシンボルとなり、買い物や散歩をはじめ、祭りやイベントなどで人がたくさん集まる駅前の緑豊かな広場公園を整備する」と位置づけられています。現時点でもその方向で整備する予定ですが、木を全く植えないというのではなく、公園の設置趣旨とバランスを取りながら一方で緑化も進めていく予定です。</p>
駅舎づくり	1	駅西側に改札口をお願いしたい。	<p>JRは1駅1改札が基本方針となっています。その中で、市の要望により武蔵境駅西口改札を設置することになりますと、維持管理費、配置する人の人件費は市の負担となります。このことから、JRに対して、西口改札設置への要望があることは伝えていますが、現状において、市の財政的負担を伴う設置は厳しい状況です。</p>
	2	JRと西武線の西口改札口を作ってほしい。	
	3	平日の朝夕ラッシュ時に中央線に乗ったことはあるか。芋を洗うような人をさばく出入口として是非、西踏み切り側に改札口を設けてほしい。	

分類	番号	意見・感想等	市の回答・対応方針
高架下利用	1	JR高架下利用について、西踏切までを駐輪場にするのには、絶対反対。エキナカは、商店街を賑わいのある将来につなげる活性化のための条件が満たされている場所なので、「もったいない」の一言。武蔵境にいかにも一人でも多くの人に降りてもらい、町を回遊してもらう魅力あるまちづくりのチャンス。	高架下の駐輪場については、現在、五宿踏切から東側と天文台踏切から一環として、雨にぬれずに駅周辺を回遊できる駅舎連続施設(南側)が本年6月に完成しました。
エキナカ出店	1	エキナカ出店について、地元商業擁護に行政は奮闘してほしい。	大規模小売店舗立地法等、法令では、行政による商業調整は認められていませんが、機会を捉えながら、エキナカ施設に対して、地元との協調や協力をお願いしていきます。
	2	エキナカに出店する店舗の規模、概要等の情報がほしかった。JR・西武との協力に関するテーマについては、鉄道会社の担当者も同席すべきと思う。	今回のタウンミーティングの時点でわかっていたのは、西武鉄道多摩川線の店舗の業種のみでしたが、市としては、鉄道事業者に対して、店舗名などの情報をなるべく早く明らかにして、地域に知らせてほしいという要請を行っているところです。

【当日配布資料】平成18年3月 路線商業活性化懇談会提言書(抜粋)

1 商店会の状況

武蔵野市は、10.73平方kmの市全域が良好な住宅地を形成しており、そこに133,522人（住民基本台帳人口、平成18年3月1日現在）の市民が生活している。

商業地は、JR中央線の3駅圏を中心に発展し、住宅地に隣接して路線商店街が市民の日々の生活を支えている。

(1) 商店会数及び会員数の推移

表1

調査日	平成17年3月17日		平成16年3月17日		平成15年3月19日	
地区	商店会数	会員数	商店会数	会員数	商店会数	会員数
全 域	(6) 52	3,320	(6) 53	3,354	(7) 54	3,462
吉祥寺	(5) 24	1,862	(5) 25	1,856	(5) 26	1,961
中 部	16	954	16	964	16	958
武蔵境	(1) 12	504	(1) 12	534	(2) 12	543

※ 商店会の範囲

- ・全 域…武蔵野市全域
- ・吉祥寺地区…成蹊通り及び成蹊通り延長線以東
- ・中 部 地 区…成蹊通り及び成蹊通り延長線から玉川上水以北の武蔵境通りまで
(但し桜柳会を除く。)
- ・武蔵境地区…玉川上水以南と玉川上水以北の武蔵境通り以西(但し桜柳会を含む。)

※ ()内は法人商店会(商店街振興組合、商業協同組合)で内数。

※ 商店会名は、資料1(6頁)参照。

(2) 商店会加入状況

表2

地 区	商店会数	調査実施商店会		商店会加入状況			未加入店の内訳	
		商店会数	商店数	正会員	準会員	未加入店	チェーン店	チェーン店以外
全 域	52	37 (71.2%)	3,095	2,456 (79.4%)	275 (8.9%)	364 (11.8%)	45 (12.4%)	319 (87.6%)
吉祥寺	24	14 (58.3%)	1,537	1,159 (75.4%)	190 (12.4%)	188 (12.2%)	15 (8.0%)	173 (92.0%)
中 部	16	15 (93.8%)	1,059	909 (85.8%)	39 (3.7%)	111 (10.5%)	16 (14.4%)	95 (85.6%)
武蔵境	12	9 (75.0%)	499	388 (77.8%)	46 (9.2%)	65 (13.0%)	14 (21.5%)	51 (78.5%)

平成16年7月調査

2 商店街の利用状況に関するアンケート調査(要約)

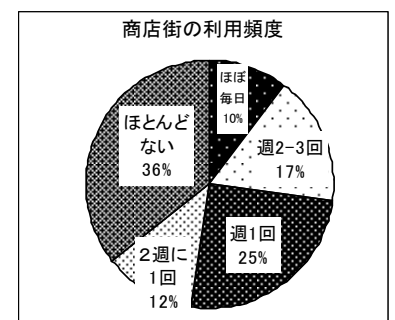
調査目的	商店街の利用に関する意識、要望を把握し、今後の地域商業活性化の基礎資料とする。		
調査対象	市内居住、16歳以上、500人（無作為抽出）		
調査方法	郵送法		
調査期間	平成17年7月15日から平成17年8月1日まで		
回収状況	回収数	253通	回収率 50.6%

※ このアンケートでいう「商店街」は、主として、駅から離れた場所または住宅近隣にある商店街と個人商店（スーパー、コンビニなどを除く）を指す。また、商店街の場所は、武蔵野市内、市外は問わない。

(1) 商店街の利用は3人に2人

商店街に限らず、買物の頻度をたずねたところ、「週～3回」が43%で最も多かった。「ほとんどしない」は5%であった。

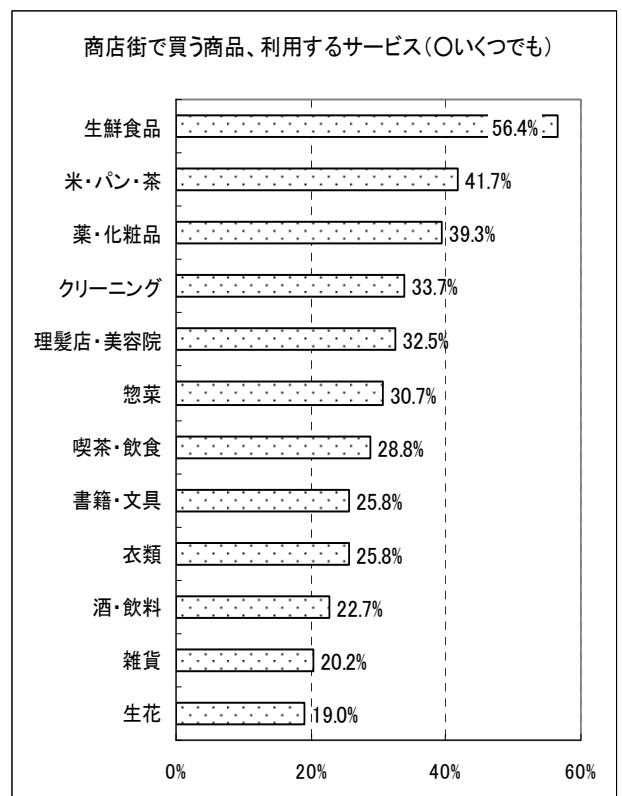
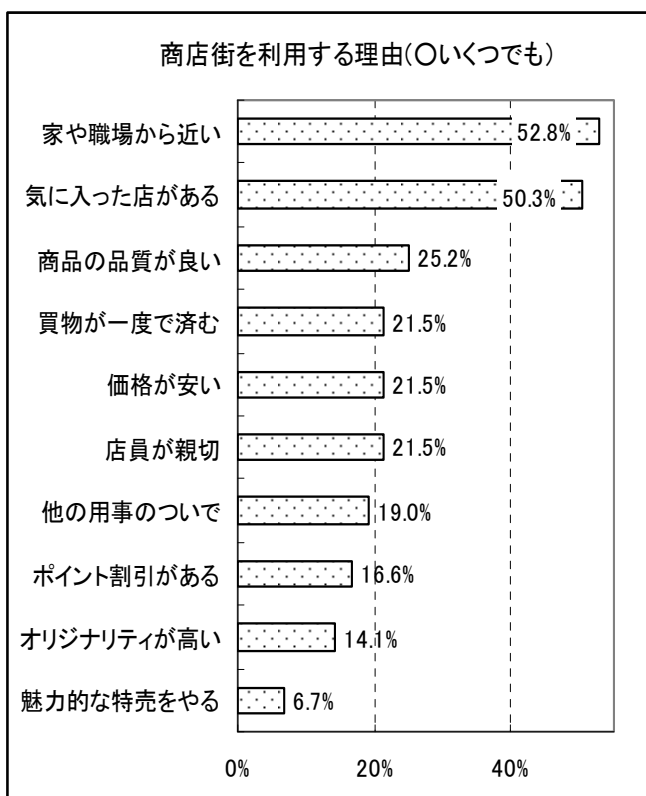
商店街に限定して買物の頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日（10%）」「週2～3回（17%）」など「利用する」の合計が3人に2人、残りは「ほとんど利用しない」であった。



(2) 商店街利用は「家や職場から近い」「気に入った店がある」が最大の理由

商店街を利用する理由は、「家や職場から近い(53%)」「気に入った店がある(50%)」が突出して多い。商店街で買う商品については、「生鮮食品(56%)」「米・パン・茶(42%)」など食品関係が多かった。

商店街を利用しない理由をたずねたところ、「買物が一度で済まない(49%)」「夜閉まるのが早い(36%)」が多くあげられた。

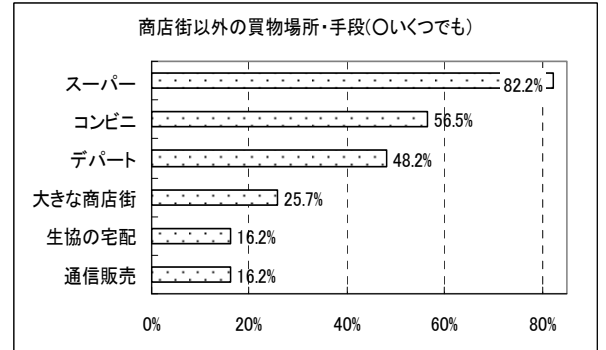


(3) 利用したいと思う店舗の条件は、まず「品質」と「価格」

「商品の品質が良い(71%)」「価格が安い(63%)」「品揃えが豊富(63%)」など商品に関する条件を望む人が多かった。その他「店員が親切(57%)」「店がきれい(42%)」が多かった。年代別では、10-20歳代で「夜遅くまで営業(64%)」が比較的多かった。

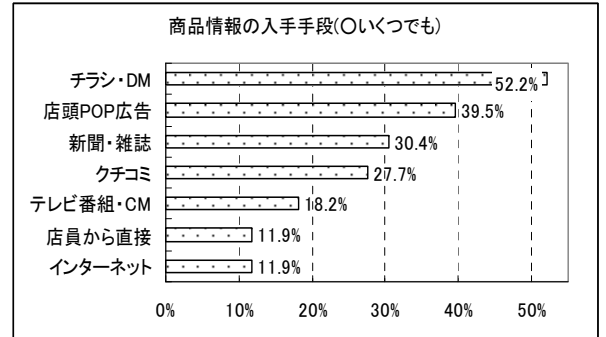
(4) 商店街の競合相手は、やはり「スーパー」

商店街以外の買物場所は、「スーパー(82%)」「コンビニ(57%)」「デパート(48%)」が圧倒的に多い。性別では、「生協宅配(男性9%、女性22%)」で差がついた。年代別では、10-20歳代で「コンビニ(85%)」、30-40歳代では「通信販売(21%)」、50-60歳代では「生協宅配(23%)」、70歳以上では「デパート(65%)」が比較的多く特徴的である。



(5) 商品情報の入手は「チラシ」「店頭POP」で

商品情報の入手手段は、「チラシ、DM(52%)」「店頭POP広告(39%)」が多かった。属性別では、「クチコミ」が女性(31%)と10-20歳代(36%)で多いのが目立つ。

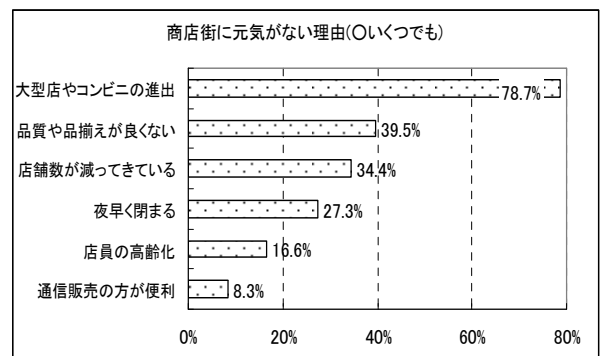


(6) 魅力ある商店街にするには「商品・接客の充実」を

魅力ある商店街にするための意見をたずねたところ、「商品充実や接客向上等の買物機能強化(68%)」「飲食店や休憩所等の充実(30%)」「情報提供の充実(29%)」が多かった。年代別では、10-20歳代で「飲食店や休憩所等の充実(39%)」、30-40歳代で「情報提供の充実(37%)」、50-60歳代で「配達サービス(26%)」などの意見がそれぞれ多かった。

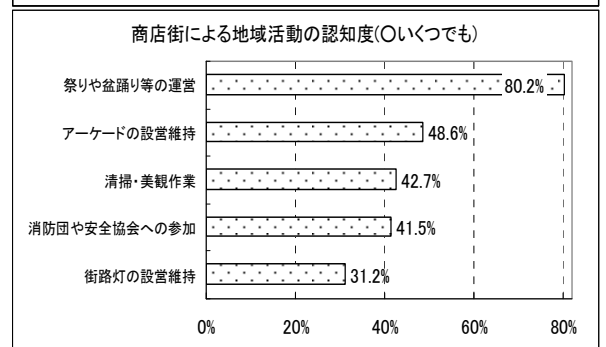
(7) 商店街に元気がない理由は「大型店の進出」

「大型店やコンビニの進出(79%)」が最も多かった。その他では「商品の品質や品揃えが良くない(40%)」「店舗数が減ってきている(34%)」が多かった。属性別では、男性、10-20歳代、30-40歳代で「夜早く閉まる」という意見が多くあげられた。



(8) 認知度の高い地域活動は「祭りと盆踊り」

商店街で行っている地域活動では「祭りや盆踊り等の運営」が80%で最も認知度が高かった。性別では、男性で「消防団・安全協会への参加(48%)」「街路灯の設営維持(36%)」の認知度が高かった。年代別では、50-60歳代で「祭りや盆踊りの運営(85%)」を始め、どの項目もおしなべて高かった。



3 まとめ(提言)

武蔵野市路線商業活性化懇談会は、平成17年5月から平成18年3月まで9回の会議を開催し、商業者と消費者の双方から数多くの意見が述べられ議論が交わされた。

市場経済化が進んだ現在は消費者の評価が全てであり、消費者が必要とするか満足するかが価値基準となっている。大型小売店と中小小売店には、人材、資金力、情報力等歴然とした差があり、また、少子高齢化や24時間型社会の進展に代表される市民生活の変化が消費者ニーズを多様化・高度化させ、店頭へ足を運ばなくても日常生活に必要な物は、ほとんどが自宅に居て揃ってしまうという時代に突入している。

そういった時代背景の中で、どうしたら個店に足を運ばせることができるか、どうしたら商店街に賑わいを再生できるか、どうしたら商店会の存在意義を発揮できるか等について、路線商業活性化のために特に必要な次の4点にわたり提言する。

提言1：商店会の組織力強化

- (1) 加入促進活動
- (2) 会則、事業計画・報告、会計処理等の提供
- (3) 商店会内のコミュニケーションの活性化
- (4) 商店会活動のPR
- (5) 商店街ぐるみでの買物機能の充実
- (6) 共同事業の推進と商店会連携

提言4-1：行政の積極的な関与（提言1に関して）

商店会加入促進策の支援（条例の研究、キャンペーン実施の支援など）／組織力強化に関する支援（法人化支援）／商店会事業への補助／広域連携事業への補助（共同スタンプ事業、ウエルカムキャンペーン、イルミネーション、コミュニティースタジオ事業）／アドバイザー派遣／イベントの広報協力／情報提供（各種説明会）

提言2：個店の魅力向上

- (1) 豊富な商品知識を持つ
- (2) 接客の向上
- (3) オリジナル商品の開発や発掘
- (4) 陳列方法の工夫
- (5) 商品の鮮度向上
- (6) 店舗のブラッシュアップ、ユニバーサルデザイン化
- (7) お買物情報・お得意情報の提供、スタンプサービスの実施
- (8) ITの活用

提言 4-2 : 行政の積極的な関与 (提言 2 に関して)

マイスターショップ認定制度調査補助 / アドバイザー派遣 / 小規模企業者融資斡旋事業

提言 3 : 商店会と地域との連携強化

- (1) 地域コミュニティの核としての商店会
- (2) 人に優しい商店街
- (3) イベントの活用
- (4) 地域ネットワークの活用

提言 4-3 : 行政の積極的な関与 (提言 3 に関して)

国、都及び関係機関等との連絡調整 / 市役所内部及び役所間等における連絡調整 / 市民団体や大学等との連絡調整 / 情報提供

市 内 商 店 会 一 覧

商 店 会 名		商 店 会 名	
地 区	吉祥寺地区 (24商店会)	地 区	武蔵境地区 (12商店会)
1	井の頭通り商店会	41	桜柳会
2	吉祥寺末広協栄商店会	42	武蔵境駅前商店街協同組合
3	吉祥寺南口商店会	43	武蔵境温泉通り商栄会
4	吉祥寺パークロード商店会	44	武蔵境本町通り商工会
5	御殿山幸栄会	45	武蔵境独歩通り商店会
6	吉祥寺本宿東一会	46	西原三栄会
7	本宿商栄会	47	桜堤西商店会
8	協親会	48	桜堤中央商栄会
9	四軒寺町会	49	境南協栄会
10	八幡通り協栄会	50	緑盛会
11	稻荷町会	51	富士見通り商店会
12	吉祥寺サンロード商店街振興組合	52	境南中央商店会
13	吉祥寺北口駅前商店連合会		
14	ダイヤ街商店協同組合		
15	吉祥寺平和通り商店会協同組合		
16	吉祥寺元町通り商店街振興組合		
17	吉祥寺エフエフ商業協同組合		
18	ペニーレーン商店会		
19	吉祥寺レンガ通り商店会		
20	吉祥寺公園通り商店会		
21	吉祥寺大正通り商店会		
22	五日市通り親交会		
23	中道通り商店会		
24	吉祥寺女子大通り光会		
地 区	中部地区 (16商店会)		
25	中道第二商店会		
26	大野田商店会		
27	武蔵野中央会		
28	八丁商和会		
29	三鷹駅北口商店会		
30	三谷通り商店会		
31	中央通り西祥会		
32	西久保城山会		
33	西久保N T T通り商店会		
34	西久保商店会		
35	緑町商栄会		
36	グリーンパーク商店会		
37	緑町一番街		
38	宮前親交会		
39	延命寺通り商店会		
40	関前八幡町親交会		

※ 番号に網掛けのある商店会は、法人化されている商店会です。

主役は市民です

今回のタウンミーティングは、「武蔵境地区の商店街振興」というテーマについて、事業者・市民の皆様と市長が意見交換をします。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

- 期日 平成20年4月25日(金)
- 時間 午後7時00分から9時00分
- 会場 スイングビル(JR 武蔵境駅北口徒歩2分) 10階 スカイルーム

武蔵野市境2-14-1

- ◆内 容 武蔵境地区の商店街振興に関すること
- ◆出席者 事業者・市民の皆様（どなたでも）、邑上守正市長
市関連部長
- ◆申 込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆共 催 武蔵野市、武蔵境商店会連合会
- ◆協 力 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会

*お車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ◎武蔵野市企画政策室市民協働推進課
Tel.0422-60-1829 Fax.0422-51-2000

武蔵境地区の商店街振興

大型商業施設計画に伴う路線商店街の
課題及び活性化策について



武蔵境駅高架化による影響とエキナ
カ出店及び鉄道会社と地元の協力の
あり方について



当日参加できない方で、商業振興について、市長にご意見・ご要望のある方は下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAX（51-2000）でお送りください。

.....

.....

.....

.....

第18回

【テーマ別】

商業者、市民と市長のタウンミーティング
～武蔵境地区の商店街振興～

報 告 書

発行 平成20年6月
武蔵野市企画政策室市民協働推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)